

漁村女性起業化グループの取組を支援 (水産庁、沿岸漁業者経営改善促進グループ等取組支援事業)

大隅地域振興局 林務水産課

【背景・目的】

鹿屋市漁業協同組合は全国でも有数の養殖カンパチの産地であり年間生産量は約5,000トン、水揚げ金額は約42億円を誇っている。

しかしながら、以前は高値をつけていたカンパチの単価が近年になり低迷し、漁業資材や餌料の高騰などがそれに追い打ちをかけ、漁業経営は窮地に立たされてきた。

そこで、これまでの「ただ魚を作ればよい」という養殖経営の考えを転換すべく、漁村で中心的な女性らが立ち上げり、カンパチ販売促進と経営の安定を目的に女性グループの結成にむけて動き出したのでそれを支援した。

また、最終的には漁村女性起業化グループの設立やその活動に対し併せて指導・支援を行った。

【普及の内容・特徴】

平成20年、漁村の若手女性漁業者らが任意の活動グループを結成した。

それ以降、鹿屋市商店街の貸店舗にてカンパチ料理の1日食堂やイベント販売などの活動がスタートしたのを皮切りに、県水産技術開発センターにおけるカンパチ加工品の開発や他女性グループへの視察などを支援し、メンバー間の結束力強化や士気向上に努めた。

このような基礎固めを経たのち、幾度かの話し合いや計画策定など本格的に漁村女性起業化グループ化に向けて動き出し、平成22年5月、県により「かのやかんぱち販売促進グループ海江's」が認定された。

なお、起業化グループに対しては、大分県の漁村女性起業化グループとの交流会やイベント販売、商品開発などの活動や計画策定等について支援した。

(女性起業化グループ設立までの取組)

平成17年 後の起業化グループ代表となる漁村女性によりカンパチ簡易加工場稼働

// //

カンパチ宅配開始

平成19年 //

HP開設

平成20年 //

移動販売の開始

平成21年 //

まちの駅へ出品開始

// 漁村の若手女性漁業者ら4名で任意の活動グループ「海江's」を結成

// 海江'sにより鹿屋市商店街貸店舗において1日食堂オープン(1回/月)

平成22年 漁村女性起業化グループ「かのやかんぱち販売促進グループ海江's」認定

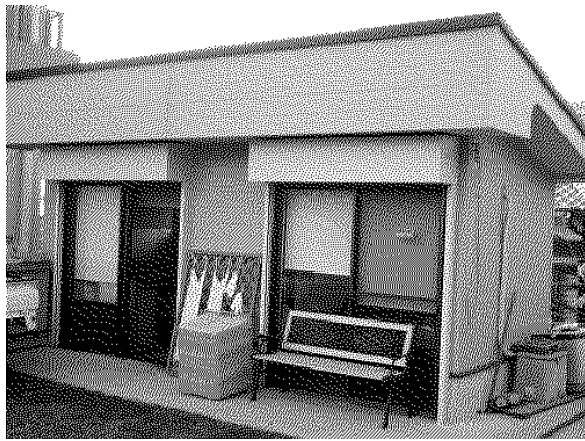
// 大分県の漁村女性起業化グループと交流会実施

【成果・活用】

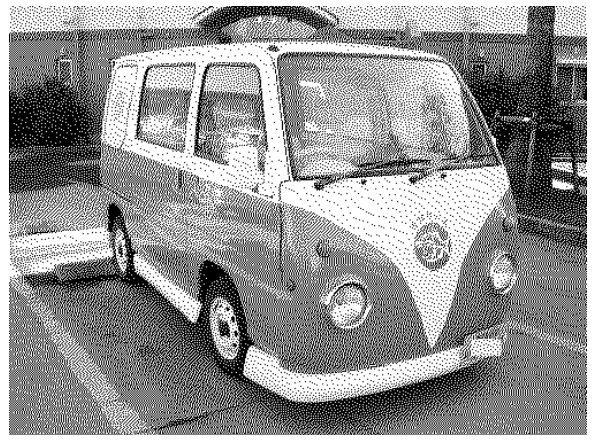
漁村女性起業化グループとして認定されたことから、活動基盤が安定するとともに、構成員の意欲向上もみられ、あわせて継続的に活動を行うことが出来るようになった。

また、マスコミに取りあげられることにより地元で開催されるイベント等に多く声が掛かるようになったとともに、「かのやかんぱち」の認知度も向上した。

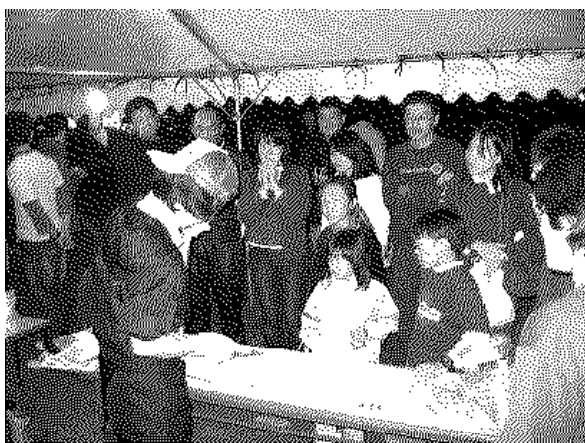
さらに、かつてのように「何もしなくても魚が売れる」という考えから地域全体が徐々に脱却し始め、買う側の立場を考慮した販売に地域全体の意識が向けられるようになった。



加工場外観



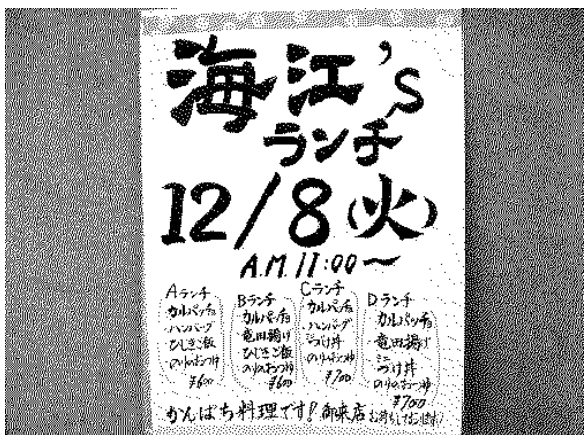
移動販売車



キャンプ場での解体ショー



海江'Sメンバー



一日食堂のカンパチメニュー



一日食堂店内